

資料編

- 1 目標指標一覧
- 2 白山市SDGsローカル指標
- 3 個別計画一覧
- 4 策定体制
- 5 策定経過
- 6 諮問書・答申書
- 7 審議会委員名簿
- 8 子どもたちへの普及活動
- 9 用語解説

1 目標指標一覧

第1章 誰もが健康でいきいきと暮らし続けられるまちづくり 健康・福祉

1 節 お互いに支え合い安心して暮らせる地域づくりを推進します

1-1-1. 地域福祉の充実

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
地域ふれあいサロン設置数	箇所	95 (H27)	130	145	
見守り協定・登録事業所数	件／年	82 (H27)	103	118	事業所数
		40 (H27)	52	62	団体数
避難行動要支援者に関する 町内会等協定数	件	－	全町内会	全町内会	

2 節 安心して子育てができる環境をつくります

1-2-1. 子育てがしやすい環境づくり

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
認定こども園の施設数	園	5 (H28)	14	22	
小規模保育園（0歳～2歳）・ 事業所内保育園の数	園	1 (H28)	2	4	
保育士定数改善事業の実施数	園／年	21 (H27)	22	23	
乳児家庭全戸訪問事業実施率	%	96.9 (H27)	100	100	
不妊治療費助成事業利用件数	件／年	240 (H27)	300	－	不妊治療費が令和4年度より 保険適用となる。 助成事業終了予定
乳幼児健診受診率	%	98.6 (R2)	100	100	

1-2-2. 子どもたちを育む体制づくり

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
児童館・児童センターの利用者数	人／年	250,549 (H27)	255,000	255,000	
放課後児童クラブの通所割合	%	19.5 (H28)	23.6	25.0	

3節 高齢者や障害者等が生きがいを持って暮らせる環境をつくります

1-3-1. 高齢者が健康で暮らしやすい環境づくり

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
シルバー人材センター会員数	人	1,070 (H27)	1,140	1,200	
認知症サポーターの養成数	人	6,664 (H27)	11,000	14,500	累計

1-3-2. 障害者が安心して暮らせる環境づくり

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
福祉施設等の入所者の地域生活への移行	人	2 (H27)	10	20	
地域生活支援拠点の数	箇所	—	1	4	
福祉施設から一般就労への移行	人	—	5	11	

1-3-3. 発達障害者が安心して暮らせる環境づくり

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
幼児教室の参加者数	人／年	188 (H27)	200	220	
各種講演会・研修会の参加者数	人／年	919 (H27)	950	1,000	

4節 市民が健康でいきいきと暮らせる環境をつくります

1-4-1. 市民主体による健康づくりの推進

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
糖尿病の重症者数の割合	%	1.0 (H27)	0.9	0.8	
健康倶楽部*会員数	人／年	300 (H28)	800	1,000	
健康づくり宣言事業所数	社／年	— (R元)	40	60	

※健康倶楽部：市と健康生活支援企業と連携した健康づくり事業（会員制）

1 目標指標一覧

1-4-2. 医療・救急体制の充実

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
他施設との連携による紹介率	%	59.5 (H27)	60.0	65.0	
他施設との連携による逆紹介率	%	73.6 (H27)	75.0	80.0	
ジェネリック医薬品使用率	%	76.5 (H27)	80.0	85.0	
救急車応需率	%	87.1 (H27)	90.0	99.0	

1-4-3. 感染症対策の強化

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
市内感染症予防協力医療機関数	施設	50	50	50	

5節 安心して暮らせる公的保険制度等の充実を図ります

1-5-1. 健全な公的保険制度の運営

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
特定健診の受診率	%	51.7 (H27)	62.0	62.5	
特定保健指導の指導率	%	78.0 (H27)	79.5	81.0	

1-5-2. 低所得者福祉の充実

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
生活困窮者の自立相談支援事業における相談件数	回／年	675 (H27)	700	1,800	相談しやすい環境をつくり課題の顕在化を目指す

第2章 地域ぐるみで豊かな心と体を育み健康で活躍できるまちづくり 教育・スポーツ

1 節 心豊かに学び育み地域に開かれた魅力ある学校づくりを推進します

2-1-1. 確かな学力の形成と豊かな心の育成

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
「授業がわかる」と回答した児童・生徒の割合	%	小 84.1 中 75.2 (H28)	小 90.0 中 80.0	小 92.0 中 82.0	全国学力・学習状況調査「わかる・どちらかといえばわかる」の合計
「難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している」と回答した児童・生徒の割合	%	小 75.4 中 74.0 (H28)	小 80.0 中 76.0	小 82.0 中 78.0	全国学力・学習状況調査「挑戦している・どちらかといえばしている」の合計
「自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童・生徒の割合	%	小 65.0 中 50.0 (H28)	小 67.0 中 55.0	小 69.0 中 57.0	全国学力・学習状況調査「勉強をしている・どちらかといえばしている」の合計
「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童・生徒の割合	%	小 84.2 中 71.8 (H28)	小 87.0 中 80.0	小 89.0 中 82.0	全国学力・学習状況調査「将来の夢や目標を持っている・どちらかといえば持っている」の合計

2-1-2. 安全で快適な教育施設の整備

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
小中学校エアコン設置校数	校	15 (H27)	28	—	全校設置

2-1-3. 子どもたちが安心して成長できる地域に開かれた環境づくり

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
「学校にいくのが楽しい」と回答した児童・生徒の割合	%	小 82.8 中 83.8 (H28)	小 88.0 中 88.0	小 90.0 中 90.0	全国学力・学習状況調査「楽しい・どちらかといえば楽しい」の合計
「自分にはよいところがある」と回答した児童・生徒の割合	%	小 72.6 中 72.0 (H28)	小 80.0 中 74.0	小 82.0 中 76.0	全国学力・学習状況調査「ある・どちらかといえばある」の合計
「今、住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童・生徒の割合	%	小 84.3 中 61.8 (H28)	小 90.0 中 64.0	小 92.0 中 66.0	全国学力・学習状況調査「参加している・どちらかといえばしている」の合計

1 目標指標一覧

2節 健康な心身を育む生涯学習・スポーツを推進します

2-2-1. 生涯学習を推進する環境の整備

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
文化会館等4施設*の利用人数	人／年	306,574 (H27)	330,000	340,000	大ホールと会議室の利用人数
公民館利用人数	人／年	385,340 (H27)	400,000	410,000	
市立図書館の登録者数	人	53,769 (H27)	63,000	63,000	
市立図書館の総貸出点数	冊／年	777,683 (H27)	795,000	795,000	

*文化会館等4施設：松任文化会館「ピーノ」、松任学習センター「プララ」、美川文化会館「アクア」、鶴来総合文化会館「クレイン」

2-2-2. スポーツ活動を推進する環境の整備

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
スポーツ・レクリエーション祭の参加人数	人／年	965 (H27)	1,200	1,300	
体育施設利用人数	千人／年	1,146 (H27)	1,150	1,158	

2-2-3. 青少年教育のための環境づくり

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
「社会に役立つことをしたい」と回答した児童・生徒の割合	%	小5 87.1 中2 87.2 (H27)	小5 90.0 中2 90.0	小5 93.0 中2 93.0	小5・中2対象「子どもの権利に関する市民意識調査」(「そう思う・まあそう思う」の合計)
巡回訪問実施施設の数	箇所／年	84 (H27)	115	127	
子育て講座等の実施数	回／年	14 (H27)	25	25	

第3章 人と地域の交流で笑顔が生まれる市民主体のまちづくり **市民生活**

1節 地域の特性を活かした笑顔生まれる協働のまちづくりを推進します

3-1-1. 市民主体のまちづくりの推進

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
町会行事災害補償制度加入率	%	89.9 (H28)	92.5	92.5	
世代間・地域間交流事業参加者数	人／年	9,195 (H27)	9,700	10,000	

3-1-2. 協働と共創のまちづくりの推進

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
市民提案型まちづくり支援事業 取り組み数	件／年	27 (H28)	33	5	
地域コミュニティ組織の設立	件	2 (R2)	5	28	累計
ボランティア登録者数	人	6,560 (H27)	7,500	8,500	
ボランティア登録団体数	団体	165 (H27)	180	200	
大学との連携事業数	件／年	37 (H27)	45	55	

3-1-3. 思いやりのあるまちづくりの推進

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
市の審議会等における女性委員 の割合	%	30.1 (H28)	40.0	40.0	
白山市仕事と生活が調和する 優良事業所総数	社	10 (H28)	20	30	

3-1-4. 市民の市政への参画機会の拡充

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
ホームページへのアクセス数	千件／年	361 (H27)	400	550	

2節 豊かな自然と調和した良好な生活環境をつくります

3-2-1. 豊かな自然環境の保全と継承

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
ホタル生息確認数	匹	2,104 (H27)	3,000	3,000	
中山間地域等直接支払交付金 取り組み面積	ha	88.5 (H28)	90.0	90.0	

3-2-2. 生活環境の向上

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
大気汚染に係る環境基準の適合 (4物質)	物質	3物質適合 (H25)	4物質適合	4物質適合	二酸化硫黄、二酸化窒素、 浮遊粒子状物質、微小粒子 状物質
道路・河川環境保全活動参加 団体数	団体	56 (H27)	80	100	

1 目標指標一覧

3-2-3. 循環型社会の構築

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
家庭系ごみの1人1日当たりの排出量	g/人・日	548 (H26)	520	486	
ごみリサイクル率	%	14.8 (H26)	23.0	20.6	

3-2-4. 脱炭素社会の構築

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
本市の特性を活かした再生可能エネルギーの導入件数 (中小水力、雪氷熱、バイオマス利用施設)	件	3 (R2)	3	8	

第4章 市民の暮らしを支える快適で笑顔あふれる安全なまちづくり 都市基盤

1 節 円滑に移動できる交通環境を整備します

4-1-1. 公共交通の充実による生活の足の確保

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
コミュニティバス利用者数	人/年	145,521 (H27)	172,000	218,000	
市内北陸本線駅の1日平均乗車人数	人/日	6,185 (H27)	6,500	6,800	
市内石川線駅の1日平均乗降人数	人/日	1,898 (H27)	2,250	2,600	

4-1-2. 円滑な交流を支える道路網の構築

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
道路（市道）の走りやすさ割合（2車線以上）	%	35.0 (H27)	37.0	39.0	
市道における歩道設置延長の割合	%	14.1 (H26)	16.0	18.0	
歩道の除雪対象路線延長	km	81.4 (H27)	85.0	90.0	

2 節 暮らしやすさを実感できる魅力ある都市基盤を整備します

4-2-1. 移住・定住の促進

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
定住促進奨励金の利用件数	件/年	358 (H25-27平均)	385	408	
空き家バンク成約件数	件	4	44	94	累計

4-2-2. 安全で快適な魅力ある都市基盤の整備

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
市民一人当たりの都市公園の敷地面積	m ² /人	10.6 (H27)	11.9	11.9	
下水道接続（水洗化）率	%	95.0 (H27)	97.0	98.0	
公衆無線LAN整備数	箇所	5 (H27)	21	46	

4-2-3. 魅力ある計画的なまちづくりの推進

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
市街化区域内の人口	人	81,200 (H22)	82,000	87,000	
空き店舗の活用	件	2 (H27)	5	10	
市営住宅の管理戸数	戸	638 (H28)	604	592	
住宅の耐震化率	%	78.1 (H25)	90.0	95.0	

3節 災害に強く安全・安心なまちづくりを推進します

4-3-1. 災害に備えた対策

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
災害時協力事業者登録業者数	社	35 (H27)	45	55	
白山市メール配信サービス登録者数	人	4,090 (H27)	6,600	9,000	

4-3-2. 地域防災力の強化

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
地区自主防災組織結成への支援	地区/年	5 (H27)	14	28	
女性防災士の数	人	31 (H27)	75	140	
二次避難施設への防災備蓄品の配備	施設	2 (H27)	40	92	

1 目標指標一覧

4-3-3. 消防体制の充実

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
消防団員数	人	539 (H27)	560	617	
救命講習受講者数	人	41,667 (H27)	55,500	65,000	累計

4節 市民の暮らしを守る社会をつくれます

4-4-1. 交通安全の推進

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
高齢者運転免許証自主返納支援件数	件／年	133 (H27)	330	350	
自転車ヘルメット購入助成件数	件	1,427 (H27)	2,100	2,850	累計

4-4-2. 防犯体制の強化

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
防犯カメラの設置数	箇所	8 (H28)	15	200	累計
町内会への防犯カメラの設置補助数	箇所	7 (R2)	36	100	累計

4-4-3. 暮らしの安全確保

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
消費生活相談件数	件	433 (H27)	500	600	相談しやすい環境をつくり課題の顕在化を目指す

第5章 賑わいと活力がみなぎる元気なまちづくり 産 業

1 節 強い農林水産業づくりを推進します

5-1-1. 安定した所得を確保できる基盤の整備

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
土地利用型農業における 担い手への農地集積割合	%	76.8 (H27)	80.0	83.0	
担い手農家の経営面積	ha	15 (H27)	17	18	1 経営体当たりの平均面積
森林環境整備事業による 森林整備面積	ha / 年	76.8 (H27)	81.0	85.0	
市産材の搬出量	m ³ / 年	8,127 (H27)	9,700	11,600	
稚魚放流自然観察事業 実施箇所数	箇所 / 年	7 (H27)	8	10	

5-1-2. 鳥獣被害対策の推進

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
捕獲檻の設置数 (イノシシ・ニホンジカ用)	基	82 (H27)	94	104	

5-1-3. 地産地消の推進とブランドの育成

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
学校給食での白山市産食材の 使用率 (主要 14 品目)	%	18.9 (H27)	22.0	25.0	
6 次産業化の支援による 新商品開発数	品	2 (H28)	10	20	

2 節 賑わいと活力を創出する商工業の振興を推進します

5-2-1. 立地の良さなどの特長を活かした工業の振興

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
市内工業団地数	箇所	17 (H28)	19	19	累計

5-2-2. 企業への支援による活力の創出

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
国際見本市出展補助件数	件 / 年	2 (H27)	4	4	

1 目標指標一覧

5-2-3. 商業の振興によるまちの賑わいの創出

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
商店街空き店舗出店補助件数	件	—	12	17	累計

3節 若者の地元就職の拡大に向けた環境をつくります

5-3-1. 若者の地元就職の促進と安定した雇用の確保

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
市内従業者数	人	53,673 (H26)	55,600	56,000	経済センサス

第6章 自然・歴史・文化と人が交わり元気に輝くまちづくり **観光・文化**

1節 自然・歴史・文化等の多様な魅力を活かした観光の振興を推進します

6-1-1. 観光客を呼び込むための環境の整備

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
観光連盟ホームページへのアクセス数	件／年	91,718 (H27)	103,000	300,000	
観光情報センターの利用者数	人／年	5,225 (H27)	5,400	18,000	
スキー場利用者数	人／年	142,910 (H25-27平均)	159,000	155,000	
レンタサイクル利用者数	人／年	2,673 (R元)	2,700	2,800	

6-1-2. 地域の魅力の発信

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
白山登山者数	人／年	49,997 (H27)	52,000	39,000	
宿泊客数	人／年	247,074 (H27)	259,000	223,000	
着地型旅行商品*の販売数	人／年	1,283 (H27)	1,700	2,000	
イベントの入込客数	人／年	309,623 (H27)	324,000	286,000	

*着地型旅行商品：旅行者を受け入れる地域で作られる旅行商品

6-1-3. 広域的な観光の推進

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
白山白川郷 100kmウルトラマラソン 参加者数	人/年	1,759 (H28)	2,000	2,000	
白山白川郷ホワイトロード 利用者数	人/年	266,195 (H27)	282,000	192,000	

2節 白山文化・白山ブランドの確立と魅力を発信します

6-2-1. 品格と文化が感じられるまちの形成

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
文化財市民講座・史跡巡り 参加者数	人/年	172 (H27)	250	350	
音楽祭の総入場者数	人/年	5,648 (H27)	5,800	6,000	メインイベント、 協賛事業の合計
現代美術展白山展の入場者数	人/年	1,537 (H27)	1,700	1,900	
暁烏敏賞の応募作品数	点	42 (H27)	50	60	
白山市ジュニア文芸賞の 応募作品数	点	2,375 (H27)	2,400	2,500	
文化施設*の入館者数	人/年	104,344 (H27)	105,000	107,000	
市民工房うるわし・松任安楽庵 の利用者数	人/年	147,612 (H27)	148,000	150,000	
白山薪能の入場者数	人/年	480 (H27)	490	500	
ライン賞の応募作品数	点	10 (H27)	20	25	

*文化施設：市内の文化施設7施設と白山恐竜パーク白峰

6-2-2. 自然や歴史のブランド力の向上

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
国指定文化財の数	件	26 (H27)	27	28	累計
ジオパーク公認観光ガイド数	人	—	5	30	

1 目標指標一覧

3節 国内外の多様な交流と賑わいを推進します

6-3-1. 国内・国際交流の推進と多文化共生の推進

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
国内・国際交流人口	人／年	950 (H27)	970	1,000	親善友好都市等との往来数、 ジャパンテント等国際交流人口
白山市国際交流協会会員数	人・団体／年	406 (H27)	420	430	普通会员、特別会員の合計
白山市国際交流サロン利用人数	人	88,233 (H27)	125,000	156,000	累計

第7章 市民の信頼に応えるまちづくり 行財政

1節 質の高い行政サービスの提供と持続可能な行政経営を確立します

7-1-1. 行政サービスの向上

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
マイナンバーカードの普及率	%	5.7 (H27)	30.0	75.0	
市公式LINEアカウントの登録者数	件	— (R2)	5,000	25,000	
A I ・ R P A 業務数	件	18 (R2)	10	30	
電子申請対象業務数	件	0 (R2)	8	25	
連携中枢都市圏構想における 広域連携事業着手数	件	14 (H28)	25	70	

7-1-2. 効率的な行政組織の確立及び職員の人材育成

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
総人件費（会計年度任用職員除く）	百万円	7,410 (H27)	6,659	6,350	
女性管理職の割合	%	18.8 (H28)	20.0 以上	30.0 以上	

7-1-3. 行財政の健全化

指 標	単位	計画策定時	目標値		備 考
		(年度)	R3	R8	
市税収納率	%	95.4 (H27)	96.0	98.2	
経常収支比率	%	92.9 (H27)	90.0	90.0	
ふるさと納税額	千円／年	10,697 (H27)	50,000	200,000	

2 白山市SDGsローカル指標

第2次白山市総合計画後期基本計画の推進にあたっては、SDGsの理念に沿って課題解決に取り組めます。白山市では、目標達成に向けた取り組みを着実に進めるため、白山市SDGsローカル指標を設定し、達成状況を確認していくこととしました。

ゴール		SDGsローカル指標	実績		備考
			基準値(R2)	目標値(R8)	
	貧困をなくそう	保護率	0.232%	— ※改善するよう努力する	生活支援課 保護率については、最後のセーフティーネットであることから基準値を基に改善を目指す
	飢餓をゼロに	主要農作物生産量	2,876t	3,300t	農業振興課 出典：農林水産省作物統計、石川県石川農林総合事務所普及のあゆみ 米については、需要に応じた生産の転換の為、除外 他に需要のある農作物へ転換予定
	すべての人に健康と福祉を	健康寿命	男性80.8歳 女性84.9歳	男性80.9歳 女性85.0歳	いきいき健康課 参照：平均自立期間（県）
	質の高い教育をみんなに	まちかど市民講座開催数	76回	130回以上	広報広聴課
	ジェンダー平等を実現しよう	女性の就業率	53.3%	55.2%	企画課 H27国調による総合戦略を基に算出
	安全な水とトイレを世界中に	下水道接続率（水洗化率）	96.7%	98.0%	下水道課 参照：総合計画と重複
	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	家庭における太陽光発電の導入割合	4.4%	10.0%	環境課 10kw未満の太陽光の設置数を一般家庭に設置数として、白山市の世帯数で割る $1,984 / 45,219 \div 4.4\%$ ※世帯数は住基より
	働きがいも経済成長も	市内従業者数	53,673人 (H26)	56,000人	企画課 参照：総合計画と重複

2 白山市SDGsローカル指標

ゴール		SDGsローカル指標	実 績		備 考
			基準値(R2)	目標値(R8)	
	産業と技術革新の基盤をつくろう	製造業事業所数	389 件	400 件	企画課 参照：経済構造実態調査 4人以上対象
	人や国の不平等をなくそう	福祉施設から一般就労への移行	5 人	10 人	障害福祉課 参照：総合計画と重複
	住み続けられるまちづくりを	市民一人当たりの都市公園の敷地面積	11.8㎡/人	11.9㎡/人	公園緑地課 参照：総合計画と重複
	つくる責任 つかう責任	家庭ごみの1人1日当たりの排出量	576 g / 人・日	520 g / 人・日	環境課 参照：総合計画と重複
	気候変動に具体的な対策を	家庭からのCO2の削減	—	1134t Co2	環境課
	海の豊かさを守ろう	漁獲量	73.6 t	維持	水産振興課 参照：県調査より
	陸の豊かさも守ろう	森林環境整備事業による森林整備面積	81.1ha/ 年	85.0ha/ 年	森林対策課 参照：総合計画と重複
	平和と公正をすべての人に	経常収支比率	96.8%	90.0%	財政課 参照：総合計画と重複
	パートナーシップで目標を達成しよう	住みよいと感じる市民の割合	83% ※ R3 調査	80%以上 維持	企画課 市民アンケート結果

3 個別計画一覧

第2次白山市総合計画で位置付けた施策は、それぞれの個別計画等（法令等により策定が義務付けられている計画を含む）に基づいて実施していきます。

各分野には下記の個別計画等があります。

第1章 誰もが健康でいきいきと暮らし続けられるまちづくり **健康・福祉**

計画名称	策定日	計画期間（年度）	担当課
第2次白山市地域福祉計画	H29.3	H29-H33(R3)	生活支援課
共生のまち白山プラン（下記3計画の総称）	H30.3		障害福祉課
第3期白山市障害者計画	H30.3	H30-H35(R5)	障害福祉課
第6期白山市障害福祉計画	R3.3	R3-R5	障害福祉課
第2期白山市障害児福祉計画	R3.3	R3-R5	障害福祉課
ふるさと安心高齢者プラン 「高齢者福祉計画・介護保険事業計画」	R3.3	R3-R5	長寿介護課
白山市子ども・子育て支援事業計画	R2.3	R2-R6	こども子育て課
白山市保健事業実施計画	H30.3	H30-H35（R5）	保険年金課
第2次白山市健康プラン	H30.3	H30-H34（R4）	いきいき健康課
白山市新型インフルエンザ等対策行動計画	H21.9	—	いきいき健康課
白山市自殺対策行動計画	H31.3	H31-H35（R5）	いきいき健康課

第2章 地域ぐるみで豊かな心と体を育み健康で活躍できるまちづくり **教育・スポーツ**

計画名称	策定日	計画期間（年度）	担当課
白山市教育大綱	R2.2	H2-R5	教育総務課
白山市教育振興基本計画（改定版） 2019-2023	H31.2	H31-R5	教育総務課
第4次白山市子どもの権利に関する行動計画	H31.1	H31-H34（R4）	生涯学習課
第2次白山市スポーツ推進計画	H31.3	H31-H40（R10）	スポーツ課
第3次白山市子ども読書活動推進計画	H29.3	H29-H33（R3）	松任図書館

第3章 人と地域の交流で笑顔が生まれる市民主体のまちづくり **市民生活**

計画名称	策定日	計画期間（年度）	担当課
第3次白山市環境基本計画	H28.3	H28-H38（R8）	環境課
白山市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画	R2.3	R2-R16	環境課
白山市一般廃棄物（生活排水）処理基本計画	R2.3	R2-R16	環境課
第2期白山市地球温暖化対策地域推進計画 〔地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域対策編）〕	R3.3	R3-R12	環境課
第2次白山市男女共同参画行動計画	H29.3	H29-H38（R8）	男女共同参画室

第4章 市民の暮らしを支える快適で笑顔あふれる安全なまちづくり 都市基盤

計画名称	策定日	計画期間（年度）	担当課
白山市地域公共交通網形成計画	R元.8	R元-R6	交通対策課
白山市橋梁長寿命化修繕計画	R2.3	R2-R11	土木課
第2次白山市都市計画マスタープラン	R2.3	R2-R12	都市計画課
白山市景観計画	H22.12	—	都市計画課
白山市公共事業景観形成指針	H23.4	—	都市計画課
白山市公共事業景観形成ガイドライン	H23.7	—	都市計画課
白山市都市計画区域マスタープラン (都市計画区域の整備、開発及び保全の方針)	H27.10	—	都市計画課
白山市国民保護計画	H19.1	—	危機管理課
白山市業務継続計画	H29.4	—	危機管理課
白山火山防災計画	H27.6	—	危機管理課
白山の火山活動が活発化した場合の避難計画	H29.3	—	危機管理課
白山市地域防災計画（津波災害対策編）	H25.2	—	危機管理課
白山市地域防災計画 (一般災害対策編) (地震災害対策編) (事故災害対策編)	H18.4	—	危機管理課
白山市津波避難計画	H29.11	—	危機管理課
白山市耐震改修促進計画	H28.3	H28-H37 (R7) ※ R2.9 一部改定	建築住宅課
白山市水道事業ビジョン	H30.3	H30-H44(R14)	水道課
白山市公共下水道全体計画	H28.1	H28-H42(R12)	下水道課
白山市公営企業経営戦略	R元.10	R2-R11	企業総務課
第3次白山市交通安全計画	H29.3	H28-H33(R3)	地域安全課

第5章 賑わいと活力がみなぎる元気なまちづくり 産業

計画名称	策定日	計画期間（年度）	担当課
白山農業振興地域整備計画	H29.10	H29-H38 (R8)	農業振興課
農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する計画	H27.4	—	農業振興課
第3次白山市地産地消推進計画	R2.3	R2-R6	地産地消課
白山市森づくりプラン（白山市森林整備計画）	H29.3	H29-H38 (R8)	森林対策課
創業支援等事業計画	H27.10	H27-R6 ※ R元.12 変更認定	商工課
白山市中小企業振興計画	H30.3	H30-H39 (R9)	商工課

第6章 自然・歴史・文化と人が交わり元気に輝くまちづくり **観光・文化**

計画名称	策定日	計画期間（年度）	担当課
白山手取川ジオパークマスタープラン	H26.4	H26-H35（R5）	ジオパーク・エコパーク推進課
白山手取川ジオパークアクションプラン 2020～2023	R2.4	R2-R5	ジオパーク・エコパーク推進課
史跡鳥越城跡附二曲城跡保存管理計画	S62.3	—	文化財保護課
旧山岸家住宅保存活用計画	H29.3	—	文化財保護課
史跡東大寺領横江荘遺跡保存活用計画	H31.3	—	文化財保護課
白山市白峰伝統的建造物群保存地区保存計画	H31.4	—	文化財保護課
史跡東大寺領横江荘遺跡整備基本計画	R3.3	—	文化財保護課
新幹線車両所の活用による観光・産業振興ビジョン	H30.3	H30-H36（R6）	白山総合車両所等活用対策室
新幹線車両所等の活用による観光プラン	R2.3	R2-R6	観光課
白山市多文化共生のまちづくり推進指針	R2.10	R2-R7	国際交流室

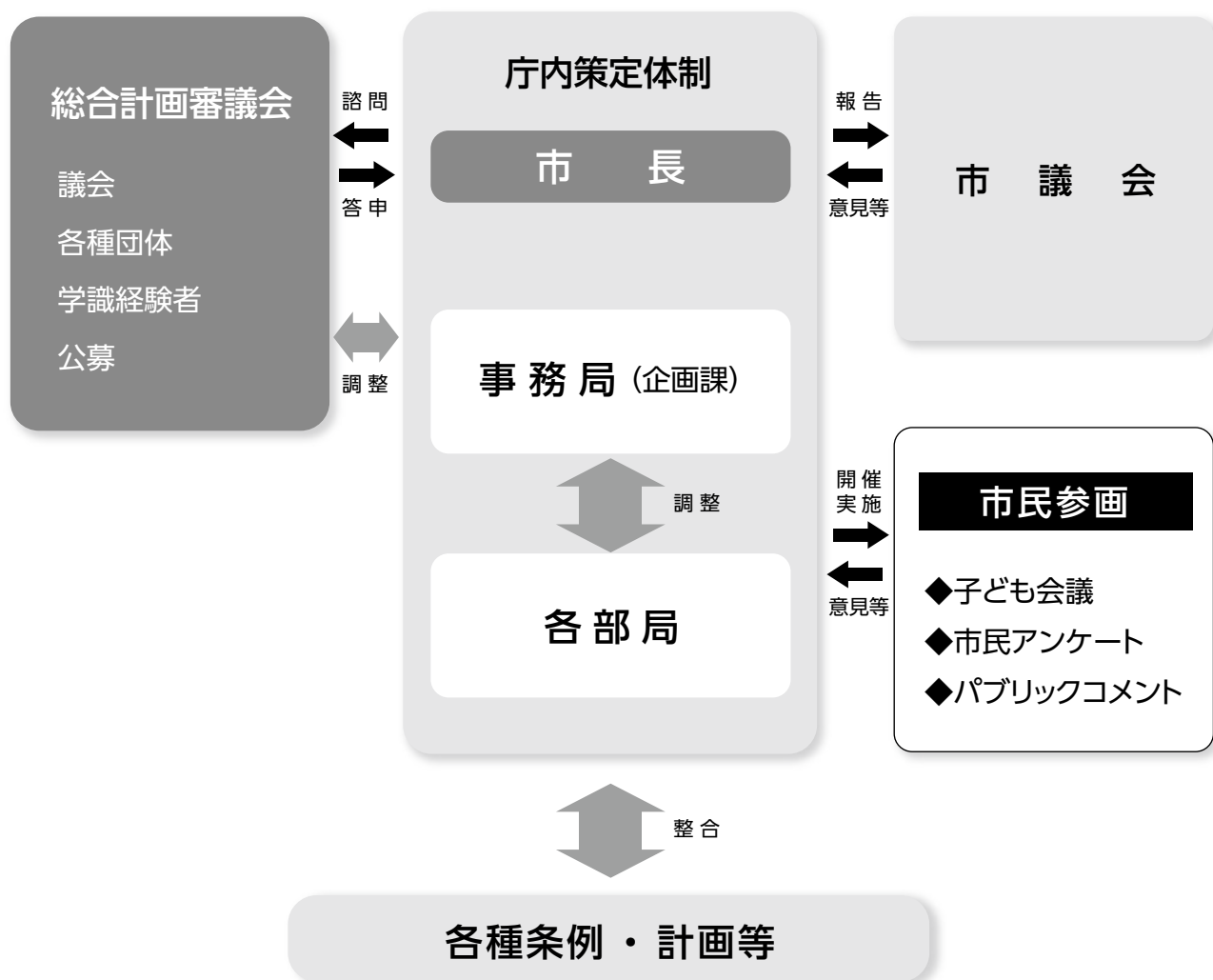
第7章 市民の信頼に応えるまちづくり **行 財 政**

計画名称	策定日	計画期間（年度）	担当課
白山市特定事業主行動計画	R2.3	R2-R6	職員課
白山市市税等収納向上対策実施計画	H28.11	H29-H33（R3）	納税課
白山市行政経営指針 2020	R2.3	R2-R6	行政経営室
白山市公共施設等総合管理計画	H27.3	H27-H36（R6）	行政経営室
白山市公共施設等個別施設計画	R3.3	R3-R12	行政経営室
白山市学校施設長寿命化計画	R3.3	R3-R12	行政経営室
第2期白山市まち・ひと・しごと創生総合戦略	R2.3	R2-R6	企画課
白山市中期計画	R2.12	R3-R7	企画課・財政課
白山市空家等対策計画	H28.3	H28-H37（R7）	定住支援課

各章共通（再掲）

計画名称	策定日	計画期間（年度）	担当課
第2期白山市まち・ひと・しごと創生総合戦略	R2.3	R2-R6	企画課
白山市中期計画	R2.12	R3-R7	企画課・財政課

4 策定体制



5 策定経過

令和3年度

月	日	市民参画	日	総合計画審議会	日	市議会
5						
6	23	市民アンケート (6/23～7/12)				
7						
8			3	総合計画審議会(第1回:書面開催) ・後期基本計画の諮問 ・総合計画の進捗状況報告 ・見直しのポイント ・市民アンケート結果速報報告		
9					13	総務企画常任委員会 ・後期基本計画の見直し趣旨 ・アンケート速報値報告 ・今後の予定
10			25	総合計画審議会(第2回) ・市民アンケート結果報告 ・重点プロジェクトの見直し ・後期基本計画(素案)		
11	7	子ども会議 (市内小中学生 18 名参加)				
12					13	総務企画常任委員会 ・後期基本計画(案)
			21	総合計画審議会(第3回) ・後期基本計画(案)	17	全員協議会 ・後期基本計画(案)
1		パブリックコメントの募集 (1/11～24)				
2			8	総合計画審議会(第4回:書面開催) ・後期基本計画(案)		
	24	パブリックコメント ・市の考え方を市ホームページに掲載	22	後期基本計画の答申		
3					14	総務企画常任委員会 ・後期基本計画(案)
					22	全員協議会 ・後期基本計画(案)

6 諮問書・答申書

(1) 諮問書

企 第 26 号
令和3年8月3日

白山市総合計画審議会
会 長 福 田 裕 様

白山市長 山 田 憲 昭

第二次白山市総合計画について(諮問)

第二次白山市総合計画基本計画(以下「基本計画」という。)の見直しにあたり、次の事項について、白山市総合計画審議会条例第2条の規定により、貴審議会に諮問します。

諮問事項(諮問第1号)

- ・基本計画の見直しの有無について
- ・基本計画の見直し方法について
- ・基本計画の見直し内容について
- ・その他基本計画の見直し検討にあたり必要な事項について



市長から福田会長へ諮問書を手渡しました

(2) 答申書

令和4年2月22日

白山市長 山田 憲昭 様

白山市総合計画審議会
会 長 福 田 裕

第二次白山市総合計画後期基本計画について(答申)

令和3年8月3日付け企第26号により諮問のありました第二次白山市総合計画基本計画の見直しについては、本審議会において慎重に審議を重ねた結果、社会情勢の変化に伴う見直しが必要であり、広く市民の声を施策に反映させるため、次の意見を付して答申します。

記

- 1 白山市の将来像に掲げる『健康で笑顔あふれる元気都市 白山』の実現に向け、引き続き、市民の満足度を高めるとともに、感染症対策、脱炭素、共生のまちづくりなどの社会情勢の変化にスピード感を持って対応し、SDGsの理念を念頭に、安全・安心のまちづくりを具体的かつ実効性のある施策を図られたい。
- 2 白山から日本海まで広範にわたる白山市は、自然や文化など、地域ごとに異なる魅力を有している中で、平野部と山ろく部における交通面や生活環境での格差も課題となっていることから、将来にわたって安定した生活が維持されるよう、より効果的な施策の展開を図られたい。
- 3 総合計画の遂行にあたっては、各施策の進捗状況を把握し、定期的に効果検証を図るとともに、市民がまちづくりに積極的に参画できるよう、その結果を広く市民に公開し、市民との協働体制の仕組み作りの充実を図られたい。



福田会長から答申書が手渡されました



山田市長と福田会長

7 審議会委員名簿

五十音順、敬称略

	氏 名	選出団体等	備 考
会 長	福 田 裕	商工会議所	
副会長	廣 瀬 康 夫	学識経験者	
委 員	荒 木 敏 明	白山市観光連盟	
	池 元 勝	市議会	
	大 谷 まどか	市民団体	
	木 村 佳代子	公 募	
	小 田 吉 一	町会連合会	
	澤 田 真 弓	女性協議会	
	彦 聖 美	学識経験者	
	藤 田 政 樹	市議会	
	宮 中 郁 恵	学識経験者	
	吉 田 洋	公 募	



令和3年度総合計画審議会（第2回）



令和3年度総合計画審議会（第3回）

8 子どもたちへの普及活動

(1) 子ども会議

子どもの視点から市民生活と行政との関わりや身近な課題について考えるとともに、子どもの考えを施策に反映させる機会として、会議を開催しました。

「これからの白山市」をテーマとして、現状や展望を調べながら、提案をいただきました。

【概 要】

- ・ 日 時：令和3年11月7日（日）
- ・ 場 所：白山市議場
- ・ 参加者：18名（市内9中学校）

【質問】

- ・ アフターコロナに向けた白山市の取り組みについて
- ・ 公園の安全について
- ・ 白山市内の小中学校のエアコンの設置について
- ・ パソコンの有効活用について
- ・ 白山ろくの過疎化について
- ・ 伝統文化の国際交流について
- ・ 学校の校則について
- ・ 白山市の新型コロナウイルス感染防止の対策について
- ・ 通学路の安全について



(2) こども版第2次白山市総合計画 後期基本計画の配布

まちづくりのさまざまな取り組みに関心を持ってもらい、身近なところから自分たちができることは何か、いっしょに考えてもらうための教材として、市内の全小学校（6年生）に活用していただいています。



9 用語解説

英 数

【AED】

Automated External Defibrillatorの略で、心臓の致死的な不整脈を感知して電流を流し、心臓を正常に戻すことができる機器。

【AI】

Artificial Intelligenceの略で、人工的な方法による学習、推論、判断等の知的な機能の実現及び人工的な方法により実現した当該機能の活用に関する技術のこと。

【AR】

Augmented Realityの略で、仮想空間の情報やコンテンツを現実世界に重ね合わせて表示することなどにより、現実を拡張する技術や仕組み。

【DV（ドメスティックバイオレンス）】

夫（パートナー）や恋人からの暴力。広義では、女性、子どもなど家庭内弱者への「継続的な身体的虐待、心理的虐待、基本的ニーズの剥奪、性的虐待」を指す。女性問題との関連では、法律上の婚姻の有無を問わず親密な関係にある男性が女性に対して用いる身体的心理的暴力を指す。

【DX（デジタルトランスフォーメーション）】

Digital Transformationの略で、将来の成長、競争力強化のために、新たなデジタル技術を活用して新たなビジネスモデルを創出・柔軟に改変すること。

【GIGAスクール構想】

1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育環境を実現するもの。

【ICT】

Information and Communication Technologyの略で、情報処理・情報通信分野の関連技術の総称。

【ICU・HCU】

ICU（Intensive Care Unit）は集中治療室

で、呼吸、循環、代謝その他の重篤な急性機能不全の患者の容態を24時間体制で管理し、より効果的な治療を施すことを目的とする。

HCU（High Care Unit）は準集中治療室、集中管理病棟、重症患者病棟。高度で緊急を要する医療を行うための病室で、ICUよりは軽症な患者を収容する。

【IoT】

Internet of Thingsの略で、コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在する様々な物体（モノ）に通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信することにより、当該物体における自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うこと。

【Maas（マース）】

Mobility as a Serviceの略で、地域住民や旅行者一人ひとりのトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービスのこと。

【RPA】

Robotic Process Automationの略で、AI等の技術を用いて、業務効率化・自動処理を行うこと。

【SNS】

Social Networking Serviceの略で、登録された利用者同士が交流できるWebサイトの会員制サービスのこと。

【Society5.0】

サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）。

【Uターン】

大都市圏の居住者が地方に移住する動きの総称のこと。Uターンは出身地に戻る形態、Iターンは出身地以外の地方へ移住する形態、Jターンは出身地の近くの地方都市に移住する形態を指す。

【VR】

Virtual Realityの略で、コンピュータによって

創り出された仮想的な空間などを現実であるかのように疑似体験できる仕組み。

【5G】

「超高速」だけでなく、「超低遅延」「多数同時接続」といった特長を持つ、第5世代移動通信システムのこと。

【6次産業化】

「地域資源」を有効に活用し、農林漁業者（1次産業従事者）がこれまでの原材料供給者としてだけではなく、自ら連携して加工（2次産業）・流通や販売（3次産業）に取り組む経営の多角化を進めることで、農山漁村の雇用確保や所得の向上を目指すこと。

ア 行

【アウトソーシング】

市の事業や業務の一部を外部の民間企業などに委託すること。外部委託。

【青色防犯パトロール】

防犯活動を認められた団体が青色回転灯を装備した自動車を利用して自主防犯パトロールを行う活動のこと。

【インターンシップ】

大学生や高校生が在学中に自らの学習内容や将来の進路などに関連した就業体験を行うことができる制度。

【インバウンド】

旅行・ホテル業界等において外国人旅行者を自国へ誘致することの意。日本においては、海外から日本へ来る観光のことや観光客を指す。

【エシカル消費】

地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動のこと。

【オープンデータ】

特定のデータが、一切の著作権、特許などの制御メカニズムの制限なしで、すべての人が望むように利用・再掲載できるような形式で入手できるデータをいう。

カ 行

【カーボンニュートラル】

温室効果ガスの排出について、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引いてゼロを達成すること。

【グローバル化】

政治、経済、文化など、様々な側面において、従来の国家や地域の垣根を越え、地球規模で資本や情報のやり取りが行われること。

【下水道ストックマネジメント】

下水道事業の役割を踏まえ、持続可能な下水道事業の実施を図るため、明確な目標を定め、膨大な施設の状況を客観的に把握、評価し、長期的な施設の状況を予測しながら、下水道施設を計画的かつ効率的に管理すること。

【ゲストティーチャー】

指導者として特別に学校に招いた一般の人々のことを指す。

【健康寿命】

平均寿命から日常的・継続的な医療・介護に依存して生きる期間を除いた期間のこと。

【コーディネーター】

複数の部門又は事柄にまたがって同時並行的に進められている場合、この分割された作業の進行状況を全体として管理、調整、統制する人。

サ 行

【再任用制度】

定年を迎えた公務員を再雇用する仕組み。団塊世代の大量退職や年金の支給開始年齢の引き上げを背景に、ベテランの知識や経験を活用するために始まった制度。

【サイバー攻撃】

行政、企業などの特定のコンピューターネットワークを対象とした、インターネット経由での破壊活動。コンピューターウイルスやスパムの大量送信、ネットワークへの不正侵入と破壊、ウェブサイトの改ざんなどの手法がある。

【サテライトオフィス】

（オフィスの管理主体や活用形態は問わず）都市部の企業等が本拠から離れたところに設置する遠隔勤務のためのオフィスの総称。

【サプライチェーン】

商品の企画・開発から、原材料や部品などの調達、生産、在庫管理、配送、販売、消費までのプロセス全体を指し、商品が最終消費者に届くまでの「供給の連鎖」のこと。

【産学官金】

産業を活性化し各地域におけるイノベーション（技術革新）の創出をさらに促進するべく、従来の産学官の連携に加えて、地域企業と密接な関係にある地域金融機関とも連携してより実効性の高い取り組みを行うこと。

【ジェネリック医薬品】

後発医薬品のことで、これまで有効性や安全性が実証されてきた新薬と同等と認められた低価格な医薬品をいう。

【ジェンダー平等】

性別に関わらず、平等に責任や権利や機会を分かちあい、あらゆる物事を一緒に決めてゆくこと。

【ジオパーク】

《geo（地球）+ park（公園）からの造語》科学的に貴重な地質遺産を含む自然公園。地域の地史や地質現象を示す地質遺産を保全し、地球科学や環境問題の教育・普及活動を行うとともに、観光資源として地域の活性化に役立てるものである。地質的・地形的特徴を背景とする文化的・歴史的・生態系的遺産もジオパークの資源となる。

【シティプロモーション】

地域を持続的に発展させるために、その魅力を発掘し、内外に効果的に訴求し、人材、物財、資金、情報などの資源を地域内部で活用可能としていくこと。

【ジビエ】

食材となる野生鳥獣肉のこと。

【小規模保育園】

6～19人の子どもを預かる保育施設で、0～2歳の児童が対象となり、市町村が認可する。

【食育】

生涯を通じた健全な食生活の実現、食文化の継承、健康の確保などが図れるよう、自らの食について考える習慣や食に関する様々な知識と食を選択する判断力を楽しく身に付けるための学習などの取り組み。

【森林施業】

目的とする森林を育成するために行う造林、と食を選択する判断力を楽しく身に付けるための学習などの取り組み。

【スキルアップ】

能力、技術力を高めること。

【スクールソーシャルワーカー】

子どもの家庭環境による問題に対処するため、児童相談所と連携したり、教員を支援したりする福祉の専門家。原則、社会福祉士か精神保健福祉士などの資格が必要だが、教員OBもいる。

【スマート農業】

ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用する農業のこと。

タ 行**【大学コンソーシアム】**

大学や研究機関の共同事業体、互いに関連する特許などの知的財産を持ち寄って共同で運用し、特定の技術の調査、研究、開発、普及、振興などを行う組織連合のこと。

【多文化共生】

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。

【地域包括ケアシステム】

すべての高齢者が、住み慣れた地域でいつまでも健やかに、安心して暮らせるようにするため、「介護」・「予防」・「医療」・「生活支援」・「住まい」の5つのサービスが、包括的、継続的

に提供される仕組みのこと。

【着地型旅行商品】

受け入れる観光地側の旅行業者（着地側）が企画して販売する商品。これに対し従来は都市部の旅行会社（発地側）が企画して客を送り込む「発地型旅行」が主体であった。

【チャットボット】

「チャット」と「ボット」を組み合わせた言葉で、人工知能を活用した「自動会話プログラム」のこと。

【長寿命化】

適切な維持管理や修繕・改修を行うことによって、施設の建て替えの周期を延ばす取り組みのこと。

【デジタルコミュニティ放送】

コミュニティ放送とは、放送法に規定する基幹放送の一種であり、デジタルはデータが数値化されたものである。限られた地域での放送であることからコミュニティFMともいわれる。

【テレメトリー】

テレメーター（遠隔計測装置）を使って、遠隔地の測定結果をコントロールセンターに送信すること。

【テレワーク】

I C T（情報通信技術）を活用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方。在宅勤務、モバイルワーク、サテライトオフィス勤務の3つの形態の総称。

【特産林産物】

普通の林産物である製材用材や薪炭材に対し、それ以外の林産物と呼ぶ総称。樹木からの産物だけでなく、草本類や菌類からの産物も含む。食用から非食用のものまで種類も多く、用途も多様である。

ナ 行

【ニューツーリズム】

従来の旅行とは異なり旅行先での人や自然との触れ合いが重要視された新しいタイプの旅行のこと。旅行会社が主導ではなく、地域の立場から特

性を活かし地域活性化につながると同時に、多様化する旅行者のニーズに則した観光を提供すること。

【認定こども園】

就学前の子どもに教育と保育を一体的に提供するほか、地域の子育て家庭に対する支援を行う施設。幼稚園や保育所などのうち一定の基準を満たす施設を都道府県知事が認定する。

【認定農業者】

農業経営基盤強化促進法に基づく農業経営改善計画の市町村の認定を受けた農業経営者・農業生産法人のこと。担い手農業者とも呼ばれる。認定を受けると、金融措置や税制措置などの支援を受けることができる。

ハ 行

【バイオマス】

動植物に由来する有機性資源で、化石資源を除いたもの。

【バイスタンダー】

救急現場に居合わせた人（発見者、同伴者等）のことを指す。119通報から救急車の到着までに発見者など現場に居合わせた人、つまりバイスタンダーによる心肺蘇生法等の応急手当の有無が救命率を大きく左右することから注目されている。

【フォーマット】

パソコンで作成する書類の「書式設定」のことやファイルの種類「ファイル形式」のこと。

【プロデュース】

製作すること。映画・演劇・ショー・イベントなどを企画し、製作することをいうが、近年では商品や観光など企画開発にも用いる。

【防災士】

防災に関する研修や救命講習を受け、その知識を問う筆記試験に合格した人を、特定非営利活動法人日本防災士機構が認証する。避難所や避難路の安全点検、家具の固定といった事前準備、避難の手助けなど、減災活動に取り組む。

マ 行

【マイクロツーリズム】

県内など近隣地域内での観光。

【無線LAN】

無線通信を利用してデータの送受信を行うLANシステムのこと。LAN（Local Area Network）とは、限られた範囲内にあるコンピュータと相互にデータ通信できるようにしたネットワークのこと。

【モビリティマネジメント】

一人ひとりのモビリティ（移動）が、社会的にも個人的にも望ましい方向（過度な自動車利用から公共交通等を適切に利用する等）に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした交通政策。

ヤ 行

【ユネスコエコパーク】

ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）が開始した「生物圏保存地域」により親しみをもってもらうため、国内でつけられた通称。「生物圏保存地域」は、ユネスコの自然科学セクターで実施されるユネスコ人間と生物圏（MAB：Man and the Biosphere）計画における一事業として実施されている。貴重な自然環境を守りながら、その持続可能な利活用を行う地域を、人間と自然が共生する国際的なモデル地域として認定するもの。

ラ 行

【ライフライン】

エネルギー施設、水供給施設、交通施設、情報施設など、生活に必須な公共・公益的設備や施設のこと。

【リモートワーク】

「Remote（遠隔）」と「Work（働く）」を組み合わせた造語で、オフィスから離れた遠隔地で働く勤務形態のこと。

【レセプト】

保険医療機関（病院、薬局等）において、治療に掛かった費用の個人負担部分の残りの治療費用（医療費）について、保険証を交付している保険者に1ヶ月分の診療行為をまとめた診療（調剤）

で請求する書類で報酬明細書ともいう。

ワ 行

【ワーク・ライフ・バランス】

「仕事と生活の調和」と訳され、働くすべての方々が、「仕事」と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった「仕事以外の生活」との調和を取り、その両方を充実させる働き方・生き方のこと。

【ワーケーション】

「ワーク」と「バケーション」を合わせた造語で、観光地など通常の職場以外で、テレワーク等で働きながら休暇も楽しむこと。

第2次白山市総合計画後期基本計画

発 行 | 令和4年3月

発行者 | 白 山 市

〒924-8688 石川県白山市倉光二丁目1番地

TEL 076-276-1111

FAX 076-274-9518

URL <https://www.city.hakusan.lg.jp/>

編 集 | 白山市企画振興部企画課

印 刷 | 有限会社 泉 印 刷



表紙のデザインは、豊かな自然とまちのにぎわいが調和する白山市をイメージして作成したものです。

